

# 見てみよう！歴史災害記録と旬のあいち

## SEPTEMBER 2017 vol.41

### ◆北犬山公会堂

所在地：東海市名和町

交通：名鉄常滑線「名和」駅 北東 約 1km

昭和 34（1959）年の伊勢湾台風は、愛知、岐阜、三重の 3 県で 4,600 名あまりの死者・行方不明者を出し、35 万戸にも及び住宅の被害を出した、我が国最大規模の台風で、浸水範囲は 3 県で 310km<sup>2</sup> にも及んでいます。

愛知県上野町（現在の東海市北部）では、9 月 26 日午後 6 時に役場内に台風対策本部を設け、部落内には消防団員を配置し警戒にあたっていました。台風は予想を上回る勢いで襲いかかり、堤防の決壊や貯木場からの材木の流出等により、大きな被害がもたらされました。こうした事態の中、消防団、部落民青年団、婦人会、各種団体から中学生に至るまで、全町民が一丸となって迅速な行動を起こし、避難民の救出、遺体の捜索収容、食糧の炊き出し、救援物資の供給、さらには堤防の汐止め工事など、悪条件の下にもかかわらず、救助、復旧のためのあらゆる作業に身を挺しました。



婦人会・青年団員による炊き出し  
(上野広報 (535.2.10) より)

東海市の北部、名古屋市南区と緑区に隣接する北犬山公会堂には、こうした救助・復旧に対する感謝の意を込めて、伊勢湾台風被災追憶之碑が残されています。建立は昭和 53 年 9 月で、正面には、「昭和三十四年九月二十六日午後九時 風速六十米の超大型伊勢湾台風は 満潮時と重なり七米の高潮となって襲来す 南柴田堤防を一瞬にして決壊し

北犬山南柴田部落は水没す 家屋の大半は全壊流失 尊い七十一名の人命を奪い 台風史上空前の猛威と災禍を受ける」と、北犬山南柴田部落での被害の状況が記され、「逸早く部落あげての復旧作業に自衛隊の協力を得 遺体収容堤防決壊場所の汐止めに全力を尽し 六十日後汐止めに成功す 一方共同炊事仮設住宅建設救援物資受領誠に感無量願くは遭難者のご冥福とともに 台風の恐怖を後世に語り伝えられんことを」と、60 日後には汐止めに成功し、炊き出しや仮設住宅の建設、救援物資の提供などの応援を受けたことへの感謝の気持ちと、教訓を後世に語り継ぐ意志が込められています。裏面には部落で命を落とした 71 名の氏名が刻まれ、さらに、碑と向かい合う位置には遭難者慰霊地蔵尊が建立されており、遭難者の冥福を祈る気持ちも表されています。

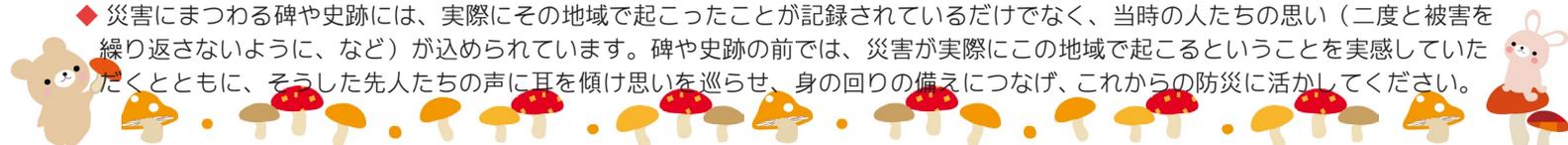
この伊勢湾台風を契機に災害対策基本法が制定され、その後、我が国の防災対策は今日まで発展を続けていますが、個人個人が日頃から防災について意識しておくことが何よりも重要であることは、いまでも変わりありません。



伊勢湾台風被災追憶之碑（左）と遭難者慰霊地蔵尊（右）



◆ 災害にまつわる碑や史跡には、実際にその地域で起こったことが記録されているだけでなく、当時の人たちの思い（二度と被害を繰り返さないように、など）が込められています。碑や史跡の前では、災害が実際にこの地域で起こるということを実感していたたくとも、そうした先人たちの声に耳を傾け思いを巡らせ、身の回りの備えにつなげ、これからの防災に活かしてください。



## ◆ 北犬山公会堂の周辺には…

### ● 友情の塔（名和小学校）

所在地：東海市名和町

交通：名鉄常滑線「名和」駅南約1.1km

友情の塔は、伊勢湾台風によって命を失った名和小学校児童25人、上野中学校生徒4人の合計29人の慰霊の塔です。



残された児童・生徒たちは、仲間を失った悲しみから日夜お供えをし花を飾り、この行ないが元になって、友情の塔が建立されました。裏面には遭難者の氏名が刻まれています。

### ● 慈眼寺（海嘯記念碑）

所在地：東海市荒尾町

交通：名鉄常滑線「新日鉄前」駅北東約400m



海嘯とは海鳴りのことで、地震による津波や高潮を指します。この碑は明治22（1889）年の高潮による被害を受けて建立された石碑です。この高潮では、堤防の決壊、海水の侵入などにより、小舟等の漂着、浸水被害が発生しています。



◆ 詳細な地図は『歴史地震記録に学ぶ防災・減災サイト』（<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>）をご覧ください。

## ★ 猩々メッタ

猩々は、古典書物に記されている架空の動物で、モデルは類人猿とされており、日本では、大酒飲みでどれだけ注いでも尽きることのない徳利を持つ、幸福をもたらす福の神とされています。東海市名和町では、毎年9月の第4土曜・日曜（平成29年は9月23、24日）に「猩々メッタ」と呼ばれる大きな人形が、バリン（下が割れている大竹）を持って



東海市観光協会 HP より

祭囃子と共に町内を練り歩く、伝統的な祭りが行われます。

祭りは船津神社を主な舞台とした地区と、八幡神社及び秋葉神社を主な舞台とした2地区で行われ、「猩々メッタ」が持つバリンで頭を触ってもらうことで、徳と福を授かるとされています。

## 9月のあいちの花

平成29年9月のあいちの花はコスモスです。コスモスは春～初夏にタネをまいて夏～秋に花を楽しむ春まき一年草で、和名の「秋桜」が示すとおり、秋以降に花を咲かせます。花色は白、ピンク、赤、黄色などのほか、白地に紅色の縁取りが入るピコティ咲きなど、ユニーク品種もあります。



ヤサシイエンゲイ HP より

コスモスの名は英語の「宇宙」ではなく、ギリシャ語の「kosmos = 美しい」の意味で、美しい花の姿に由来しています。

## ● ブレイクタイム ●

### ♪ 聚楽園大仏

名鉄常滑線の道中、聚楽園駅の近くになると、巨大な大仏が目飛び込んできます。この大仏は、聚楽園大仏と呼ばれ、昭和2（1927）年に昭和天皇のご成婚を記念して開眼供養されたものです。建立者は、守口漬も考案した美濃国出身の実業家・山田才吉で、大仏の高さは18.79mもあり、奈良や鎌倉の大仏をも凌ぐ大きさです。

大仏とその境内地は東海市の指定文化財に指定されており、市のシンボルとしても多くの人に親しまれています。また、高台にある大仏のそばから周りの景色を見渡すと、製鉄所などの立ち並ぶ風景や東海市の街並みが一望できます。



東海市観光協会 HP より

◆ この地域の災害に関する碑・史跡、資料・体験談集、地域に残る古文書、研究資料、郷土史研究者・団体などの情報がありましたら、[gensaisan2014@gmail.com](mailto:gensaisan2014@gmail.com) まで情報をお寄せください。

◆ 県内の歴史地震記録をホームページで紹介しています。各地の碑や史跡等にご興味をお持ちいただけましたら、『歴史地震記録に学ぶ防災・減災サイト』（<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>）をぜひご覧ください。

（発行：減齋の会・名古屋大学減災連携研究センター 平成29年9月）

